

いつでも、どこでも、誰でも 読書に親しむことができる環境づくり

地域の
特色ある
活動

福井県越前市教育委員会

1 はじめに

越前市は、福井県の中央部に位置し、平成17年10月1日に旧武生市と旧今立町とが合併して誕生しました。しかし、本市の歴史は大変古く、大化の改新の頃に越前国の国府が置かれ、北陸地方の政治・経済・文化の中心地として栄えてきました。平安時代には、源氏物語の作者である紫式部が生涯でただ一度、京の都を離れ、多感な少女時代を過ごした地であり、画家のいわさきちひろさんが生まれ、絵本作家で児童文化研究者のかこさとしさんが生まれ育った地で、歴史や文化、自然に富んだ地域です。

また、越前和紙や越前打刃物、越前箆笥などの伝統産業から、電子部品等の先端技術産業に至るまで幅広い産業が集積し、福井県内一の製造品出荷額を誇る「ものづくり都市」として発展を続けています。

2 越前市立図書館について

越前市には、中央図書館と今立図書館の2つの市立図書館があります。

中央図書館は、明治29年進脩小学校に開設された谷口文庫を前身として始まり、大正12年に武生町立図書館として開館した、県下有数の歴史ある図書館です。昭和23年に武生市立図書館となり、合併後の平成18年8月に越前市中央図書館として現在の場所に新築移転しました。紫式部など本市ゆかりの各人物やものづくりのコーナーを設け関連本を収集しており、郷土に関する地域資料が充

実しているのが特徴です。また、古文書や近世期版本などの貴重資料も2万点以上所蔵しており、現在整理を進めているところです。

今立図書館は、明治42年に開館した花筐図書館を前身とし、昭和11年に花筐文庫として開館しました。昭和58年に今立町立図書館となり、合併して越前市今立図書館となりました。地元の伝統産業である越前和紙に関する資料を豊富に所蔵しています。

現在、2館合わせて約52万冊の蔵書のうち、児童書は10万8500冊を有します。

3 本市の読書活動推進について

① 読書のまち宣言

越前市では平成24年10月に「越前市子ども読書活動推進計画」を策定しました。これ

読書のまち宣言

越前市

国府の輝かしい歴史と文化を継承し、はぐくんできたわたしたち越前市民は、地域力を生かして、いつでも、どこでも、誰でも読書に親しむことができる環境を整えます。そして、越前市にゆかりのある本などを読み合うことを通して住むことに誇りを持つ越前市民を育て、夢や希望を語り合えるまちづくりを目指すため、ここに読書のまちを宣言します。

- 1 わたしたちは、赤ちゃんを愛情豊かに育てる親子読み聞かせに取り組みます。
- 1 わたしたちは、子どもの読書習慣を育てる朝読書・読み聞かせに取り組みます。
- 1 わたしたちは、親子や家族みんなで仲良く読書に親しむ家読書に取り組みます。
- 1 わたしたちは、郷土の歴史や文化、伝統などに触れる地域読書に取り組みます。
- 1 わたしたちは、毎月第3土曜日を市民読書の日と定め生涯読書に取り組みます。

を契機として、積極的に市民との協働による読書活動を推進し読書のまちを目指すため、平成 25 年 3 月市議会において、福井県内で初めて「読書のまち宣言」を行い、5 月 5 日にはかこさとしさんを招き、セレモニーを開催しました。また、同年 7 月からはブックスタート事業を開始しています。



読書のまち宣言セレモニーの様子

② 読書のまちフェスティバル

読書のまち宣言後は、毎年「こどもの読書週間」の時期に、「読書のまちフェスティバル」を開催しています。

絵本の読み聞かせや紙芝居の口演、伝承遊びや工作、ネイチャーゲームやふるほん市など、子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただいています。また、かこさとしさんやいわさきちひろさんの絵本を中心に、絵本約 4,500 冊を集めた、越前市かこさとしふるさと絵本館「**碩**」と中央図書館、隣接する中央公園の 3 か所を巡るスタンプラリーも、好評を得ています。

③ 市子ども読書活動推進計画改定

平成 24 年に策定した「越前市子ども読書活動推進計画」が平成 28 年度までの計画期間であったため、平成 29 年 3 月に向こう 5 年間の計画を定めた第二次計画を策定しました。第二次計画では、第一次計画を検証し、各機関との連携や人材育成等について、具体的な行動を定めました。この計画に基づき、すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができる環境をつくるため、家庭・地域・学校などと連携し、読書活動を推進します。

4 中央図書館開館 10 周年

中央図書館は、昨年開館 10 周年を迎えたことから、様々な記念事業を展開しました。10 年間ベストリーダーの表彰、いわさきちひろ美術館の協力による講演会や水彩技法体験、越前市文学マップの発行、文学散歩、越前和紙を使った豆本づくりワークショップ、本の福袋、かこさとしさんの絵本の画をデザインしたオリジナル限定図書バッグの製作・販売、そして図書館の本の貸出レシートを集めて応募する「読んで当てよう！」など、記念事業をきっかけとして、多くの市民が楽しみながら本に出会う機会を創出できたのではないかと考えています。



安曇野ちひろ美術館副館長による記念講演会

現在、中央図書館周辺では、かこさとしさん監修の公園の整備が進んでおり、今後は、公園や周辺施設と連携した取組みを進めていくつもりです。

5 おわりに

これら読書活動を推進する事業の展開により、幅広い年代の方に図書館をご利用いただいています。今後も利用者のニーズに応えたサービスを展開し、本と人とのつながることのできる魅力ある図書館づくりに努めます。



教育長
中島和則